

区域間調整に係る再協議の概要

《第1回》

1 日 時 平成27年12月23日(水)、10:30~12:00

2 場 所 県庁第一別館 11階会議室

3 出席者

【松山圏域】村上議長(松山市医師会長)、三木副議長(中予保健所長)

八木委員(東温市医師会長)、事務局[山下、新田、高市]

【宇摩圏域】白石議長(宇摩医師会長)、坂副議長(宇摩歯科医師会長)

早田委員(四国中央保健所長)、事務局[紀伊、坂東、佐藤]

【宇和島圏域】友松議長(宇和島医師会長)、廣瀬委員(宇和島保健所長)

事務局[大西、篠藤、芝]

【医療対策課】桂浦主幹、村上係長、玉井主任

4 主な発言

(村上議長)

- ・病床機能報告制度の曖昧さ、診療報酬点数による病床機能の分類など、地域医療構想策定の出発点には問題ありと考えている。
- ・県が示した調整方針には一定の論理性もあるが、そのことだけが正しいのかを考えていただきたい。
- ・北海道は、高度急性期と急性期を医療機関所在地、岡山県・大分県では、すべての医療機能区分で医療機関所在地の医療需要を採用している。いずれも、患者流入の状況は当分変わらないだろうとの見立てによるものと考えられる。
- ・急性期と回復期は全圏域から松山圏域に流入があり、慢性期は新居浜・西条と八幡浜・大洲への流出が若干あるが、明らかに流入超過である。
- ・その理由として、松山圏域にはリハビリ専門のスタッフや医療機関が複数あることのほか、子ども世代が松山圏域に住んでいることを理由に親世代を松山で療養させているケースも多いことなどが考えられる。また、救急医療を維持していくためには、出口部分を広くして連携をする必要があるが、松山圏域はこれが完備され、慢性期でも松山にとどまる。作業療法士、理学療法士、言語聴覚士などが豊富な地域に患者が残るということもある。
- ・人口推計によると、今後、後期高齢者が増える一方で、介護の担い手となる20~59歳の人口は減っていくが、松山圏域では、他圏域と比べるとまだ多い。
- ・以上の状況から、松山圏域では、すべての医療機能区分で医療機関所在地ベースの医療需要を採用したいということで、あらためて協議をお願いした。

(八木委員)

- ・今の状況で10年先の適正な病床数を決めるというのは、非常に危険である。
- ・内閣府から地方移住の話も出てきているが、その条件として最も重要なものの一つが医療資源である。病床を減らす議論はナンセンスで、減らす方向はないと思う。

《第2回》

1 日 時 平成27年12月26日(土)、15:00~16:30

2 場 所 県庁第一別館 11階会議室

3 出席者

【松山圏域】村上議長(松山市医師会長)、三木副議長(中予保健所長)
八木委員(東温市医師会長)、事務局[山下、新田、高市]

【新居浜・西条圏域】中山議長(新居浜市医師会長)、松浦副議長(西条市医師会長)
武方委員(西条保健所長)、事務局[佐伯、真鍋]

【八幡浜・大洲圏域】大久保議長(喜多医師会長)、河野副議長(八幡浜保健所長)
事務局[石川、二宮、鳥越]

【医療対策課】山田課長、村上係長、玉井主任

4 主な発言

(村上議長)

第1回と同じ。

(八木委員)

- ・新聞では、診療報酬改定の審議で、高度急性期の施設基準を厳しくして病床を減らすような記事が出ている。地域実情に応じた必要病床数の議論をしているところだが、全国一律で施設基準で縛ることは次元の異なる話である。厚生労働省はどう考えているのか、もっと情報が欲しい。
- ・厚生労働省の地域医療構想策定ガイドライン等に関する検討会で、患者の流出入や二次医療圏の話があり、全国的に問題となっていることがうかがえる。二次医療圏は組みなおすことを考えるべきだと思う。

(村上議長)

- ・再協議の結果、県内のすべての圏域と合意に達しなかったため、あとは戦略会議で責任をもって決定していただくしかない。

2025年の医療需要推計における患者流入の状況 (二次医療圏別)

単位:人/日、網掛けの「0.0」は10未満の数値あり

【高度急性期】

	医療機関所在地					
	宇摩	新・居浜条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩	36.5	10.1	0.0	0.0	0.0	0.0
新居浜・西条	0.0	130.8	0.0	36.1	0.0	0.0
今治	0.0	0.0	83.1	23.8	0.0	0.0
松山	0.0	0.0	0.0	451.8	0.0	0.0
八幡浜・大洲	0.0	0.0	0.0	40.9	42.3	0.0
宇和島	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	71.3
患者住所地						

【急性期】

	医療機関所在地					
	宇摩	新・居浜条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩	189.4	30.1	0.0	15.0	0.0	0.0
新居浜・西条	0.0	539.7	11.8	76.1	0.0	0.0
今治	0.0	0.0	435.7	54.0	0.0	0.0
松山	0.0	0.0	0.0	1,528.4	0.0	0.0
八幡浜・大洲	0.0	0.0	0.0	87.6	256.9	28.9
宇和島	0.0	0.0	0.0	25.4	0.0	289.7
患者住所地						

【回復期】

	医療機関所在地					
	宇摩	新・居浜条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩	211.6	27.0	0.0	14.4	0.0	0.0
新居浜・西条	0.0	499.0	14.5	78.2	0.0	0.0
今治	0.0	0.0	522.3	53.8	0.0	0.0
松山	0.0	0.0	0.0	1,820.0	0.0	0.0
八幡浜・大洲	0.0	0.0	0.0	104.9	478.5	33.1
宇和島	0.0	0.0	0.0	39.6	0.0	351.0
患者住所地						

【慢性期:パターンB】

	医療機関所在地					
	宇摩	新・居浜条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
宇摩	126.6	14.7	0.0	16.0	0.0	0.0
新居浜・西条	0.0	499.0	0.0	54.1	0.0	0.0
今治	0.0	0.0	260.6	53.0	0.0	0.0
松山	0.0	10.5	0.0	1,638.7	10.1	0.0
八幡浜・大洲	0.0	0.0	0.0	75.3	279.4	20.9
宇和島	0.0	0.0	0.0	20.1	0.0	244.6
患者住所地						

構想区域ごとの病床の状況（療養病床及び一般病床）
(単位:床)

構想区域	基準病床数(①)	第6次地域保健医療計画策定時の実病床数			病床機能報告結果 許可病床(④)	医療機能	今回算定した2025年度の必要病床数		
		既存病床(②)	特定病床(③)	合計(②+③)			医療機関所在地	患者住所地	県方針
宇摩	573	1,043	178	1,221	1,244	高度急性期	51.3	98.8	51.3
						急性期	252.1	355.9	355.9
						回復期	253.0	314.4	314.4
						慢性期(特例)	179.6	218.7	218.7
						計	736.1	987.8	940.3
新居浜・西条	2,272	3,049	359	3,408	3,126	高度急性期	196.3	237.3	196.3
						急性期	751.5	824.2	824.2
						回復期	600.9	677.9	677.9
						慢性期(特例)	610.6	650.3	650.3
						計	2,159.4	2,389.7	2,348.7
今治	1,491	2,267	338	2,605	2,378	高度急性期	119.1	158.4	119.1
						急性期	584.8	682.3	682.3
						回復期	607.9	707.5	707.5
						慢性期(特例)	358.7	432.8	432.8
						計	1,670.5	1,981.1	1,941.7
松山	8,113	8,159	1,583	9,742	9,060	高度急性期	779.9	615.6	779.9
						急性期	2,327.6	1,991.9	1,991.9
						回復期	2,392.8	2,057.8	2,057.8
						慢性期(B)	2,060.3	1,843.8	1,843.8
						計	7,560.6	6,509.1	6,673.4
八幡浜・大洲	1,249	1,917	189	2,106	1,829	高度急性期	58.6	126.8	58.6
						急性期	339.1	486.0	486.0
						回復期	546.2	693.3	693.3
						慢性期(特例)	352.0	444.7	444.7
						計	1,296.0	1,750.8	1,682.5
宇和島	1,467	1,876	298	2,174	2,110	高度急性期	119.7	115.1	119.7
						急性期	434.4	418.3	418.3
						回復期	449.4	453.9	453.9
						慢性期(B)	299.4	306.9	306.9
						計	1,303.0	1,294.2	1,298.8
計	15,165	18,311	2,945	21,256	19,747	計	14,725.4	14,912.5	14,885.5

① 第6次愛媛県地域保健医療計画(平成25年度～平成29年度)における基準病床数(算定)

② 平成25年1月31日現在の既存病床=(病院の全ての療養病床・一般病床)+(診療所の全ての療養病床と平成19年1月1日以降に使用許可を受けた一般病床)

③ 平成25年1月31日現在の特定病床=平成18年以前に使用許可を受けた一般病床

④ 平成26年度病床機能報告に基づく許可病床数(平成26年7月1日現在)

推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所 H25.03推計)

(単位:人)

構想区域	年齢区分	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
宇摩	総数	86,886	83,349	79,432	75,301	71,088	66,687
	20～59歳	39,398	36,935	34,677	32,391	29,215	26,624
	75歳以上	13,470	14,207	16,166	17,015	16,685	15,920
新居浜・西条	総数	227,783	220,332	211,721	202,607	193,222	183,676
	20～59歳	101,793	97,547	93,285	89,103	81,754	75,886
	75歳以上	36,046	38,543	43,523	44,532	42,978	41,187
今治	総数	165,350	156,481	146,927	137,080	127,169	117,473
	20～59歳	70,850	66,671	62,788	58,235	51,823	46,972
	75歳以上	27,882	30,273	34,197	34,209	31,798	29,058
松山	総数	643,449	629,001	610,640	589,552	566,068	540,172
	20～59歳	311,045	298,195	285,193	269,997	247,452	228,331
	75歳以上	86,097	96,103	112,126	119,403	120,235	118,606
八幡浜・大洲	総数	144,896	133,953	123,084	112,672	102,867	93,495
	20～59歳	56,491	50,610	46,025	41,834	37,038	32,924
	75歳以上	31,152	30,551	32,095	32,149	30,695	28,251
宇和島	総数	115,098	106,383	97,647	89,191	81,049	73,115
	20～59歳	44,677	40,042	36,413	32,953	28,809	25,378
	75歳以上	23,396	23,317	25,575	25,964	24,575	22,144